

第3学年 総合的な学習の時間

1. 題 材 名 『セミのぬけがら調べ』

2. 題材の価値

○近年、児童が自然に親しむ機会が少なくなっている。そのためにも、本町に残された自然に関心を持ち、身近な自然とのふれあいから生き物との環境の関わりに気づき、自然を大切にしていこうとする心情や態度を培う取り組みが重要となる。

・セミは、自然環境によって生息数や種類が異なり、環境との関連を調べられる指標生物である。

府の「セミのぬけがら探し」の集約結果と比較すれば、本町の特徴を知ることができる。

・毎年の調査を重ねていけば、今後の都市化による環境の変化をさぐる指標資料となる。

・セミは、理科の「昆虫」単元との関連がはかられ、児童にとって身近な親しみのある昆虫である。

また、セミのぬけがらは多量で容易に採集でき、児童でも集計結果を数量化するなどして、生息状況を調べることができる。

○パソコン・インターネット・ビデオ・プロジェクター・実物投影機等の活用を生かすことにより、児童がさらに興味・関心をもって、学習課題に取り組むことができる。

3. 指導目標

セミのぬけがら調べを通して身近な自然にふれあい、生き物は自然環境とつながりがあることに興味を持ち、地域の自然に愛着をもって大切にしていこうとする心情や態度を育てる。

4. 指導計画

<1学期>

○セミには種類があることを知る。

・セミの鳴き声を聞き分ける。

＊セミの種類ごとの鳴き声の録音テープ。

＊本校の、セミの鳴き声を録音した資料。（1年前より準備しておく）

＊本校で、セミが鳴いている様子をビデオ撮影した資料。（1年前より準備しておく）

○本町で、セミの鳴き声調べを行う。

・鳴き声を発見した場所と日時を記録しておく。

・鳴き声調べの報告会を行う。

○セミについて、くわしく調べる。

・グループごとに、セミの特徴や生態等について調べまとめる。

＊インターネットや図鑑等を活用し、調べたことをまとめる。

＊セミの体の仕組みや生態について、ビデオ及びデジタルカメラで撮影した資料を提示しながら報告会を行う。（ビデオ、プロジェクター、実物投影機）

・セミのぬけがらの見分け方を知る。

＊インターネットや図鑑等を活用して調べる。

調べたことを、写真等（デジカメ）で資料としてまとめておく。

＊本町で、ぬけがらがありそうな場所を予想し、自らも探してみる。

<2学期>

○セミのぬけがら調べを行う。（3～4回実施）

・事前調査から採集場所を決め、学級ごとに採集する。

＊見つけた場所の様子は、必ずデジタルカメラやビデオで撮り、資料として残すようにする。

＊できれば、夏休みの課題として採集する。

○セミのぬけがらの集計を行う。

・学級ごとに、種類および雄雌で判別し、集計結果を学年でまとめる。

＊まとめた結果を、写真等（デジカメ）で資料として残す。

・できれば、ゲストティーチャーを招き、セミの生態やぬけがらから分かる事について教えていただく。

○大阪府内の結果と比べてみる。

・大阪府の速報（環境農林水産部HP）資料を提示し、自分たちの調べた結果と比べ、分かったことや疑問等をまとめる。

### <3学期>

○調べたことを伝える。（発表会を行う）

・これまで調べたことを、個人で振り返りシートにまとめる。

・発表会の準備を行う。

＊発表会の分担を決める。

＊ビデオ、プロジェクター、実物投影機を活用した発表会になるよう工夫する。

＊2年生に分かりやすい内容、伝えたい内容を話し合い工夫する。

＊2年生に招待状を作る。

・2年生を招待して、発表会を行う。